

# 事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	12017-1	事業名	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業	部名	企画総務部
	室名		企画政策室		財務科	会計
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	基本施策	08:新たな国土軸の形成	款	一般会計
	基本施策	08:新たな国土軸の形成	施策の方向	02:リニア中央新幹線の実現に向けた取り組み	項	諸支出金
戦略プロジェクト				目	基金費	
					目	リニア中央新幹線駅整備基金費

② 目的・概要	対象	市民
	目的・概要	リニア中央新幹線亀山駅整備基金は、亀山市基金条例第3条において、その目的を「リニア中央新幹線の市内における停車駅を整備する資金に充てるため」としており、将来において、基金設置目的に沿った事業を展開する際の財源確保を図ることを目的に、目標とする20億円に向け、計画的な基金積み立てを行う。 なお、積立額は、毎年度の財政状況を勘案し、適切な額による積み立てを行うこととする。

			24年度	25年度	26年度
③ 指標	活動	① 名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立額	計画値	
		補足		実績値	50,000
		単位		千円	千円
	② 補足	名称		計画値	
		補足		実績値	
		単位			
成果	① 名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金残高	計画値		
	補足		実績値	1,400,864	
	単位		千円	千円	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					平成26年度実績 積立金 50,010,000円 年度末残高 1,500,904,000円			
	事業費	事業費	計画額	50,010	予算額	50,010	決算額	50,010
		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他		3,883		5,712		
		一般財源		46,127		44,298		
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①		74		
	総コスト		⑥		50,084			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	目標額20億円に向け、平成26年度当初予算に計上した5千万円の積立を行うことができた。この結果、年度末残高が約15億円となり、目標額の75%となった。	総合判定
			A 順調に進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	リニア中央新幹線の整備については、東京・名古屋間が着工され、今後は名古屋・大阪間のルートや中間駅の決定がその着工に向け進められていく状況である。今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれるが、市がリニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議等と通じて推進している、東京・大阪間の早期開業と市内停車駅誘致を見据え、リニア中央新幹線駅設置後に、駅を中心としたまちづくりを早期に実施するための財源として、着実に積立を行っていく必要がある。
	【改善の方向性】	今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれるが、継続的に適切な基金の積立を行っていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 企画政策室長 豊田 達也
--------------	---------	-----------------------